

Hands^{some}me

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 水 康德 編集責任者：桶村清子 34期広報委員会 印刷所：東京印刷株式会社



2月16日(月)全日空ホテルに於いて、政治行政委員会主催のもと2月例会(仮想米子市議会)が開催された。

冒頭 水会長より、「新しい会員が2名増えました。自分の年度が終わる頃には(今年はいっぱい新入会員が入ったな)と言えるように会員一丸となって取り組んでいきましょう。」と挨拶があった。

続いて新入会員2名(廣山松憲会員・濱澤卓司会員)にバッジ授与が行われた。



廣山会員「諸先輩方のご指導を仰ぎながら、中央会の名に恥じない会員になりたい」

濱澤会員「ポジティブで米子のことを真剣に考えている、より実働的な人たちとふれあって自分を磨きたい」と中央会への意気込みを話された。



委員長タイムでは総務委員会 松田幸紀委員長より、東京に店を出した時の苦労

を、鳥取(米子)-東京(新宿)の比較をしながら話され、「お店を出そうと考えてから実際出店するまでの、非常に苦しい2年間があったからこそ今の自分があり、この不景気にも立ち向かっていこうという気持ちになれる。」と締めくくられた。



続いて土岐副会長の議長のもと、1号議案

鳥取県西部中小企業青年中央会

次年度(第35期)会長指名推薦の件、2号議案

鳥取県中小企業青年中央会 次年度(平成21年度)会長候補者指名推薦の件について臨時総会が行われ、水会長より指名推薦された1号議案 増井県出向監事、2号議案 山根副会長が満場一致で承認された。

2月例会報告

20××年度 米子市議会 ○○委員会

『彦名を学園都市化し、人口集積および企業誘致・住宅建設の促進を図る』

続いて行われた例会では、朝原副委員長より「米子・境港都市計画区域 線引きの見直し」という、今年度政治行政委員会のテーマの紹介の後、2月例会では会員に米子市が現状抱えている問題を認識してもらい、将来米子市のあるべき姿を検証する場にてできればとの趣旨説明がありました。まず、茅野委員長(仮想市長)が感じている「米子市が抱える問題点」は?という質問に対して人口の減少を挙げ、地元で就職先が無いため若手層が県外へ流出していることが一番の問題であるとの考えから、企

業を誘致し雇用の場を生み出し、魅力ある新たな市街地を作っていくことが必要だという指摘がありました。そこで『彦名を学園都市化し、人口集積および企業誘致・住宅建設の促進を図る』という公約に結びつけます。また、どうして「彦名」という地域なのか?なぜ学園都市なのか?という質問に対しては、筑波大学を中心とした学園都市(茨城県つくば市)を例に挙げながら、米子市の医療都市としての充実ぶりからして、鳥大医学部と付属病院を学園都市の中心施設に据えたい、と答えがありました。また、彦名地域の「線引き」つまり市街化区域と市街化調整区域の見直しについての議論も続きました。

そして「都市計画の見直しと線引きの撤廃がなぜ学園都市なのか?」という質問に対して、「線引き」を撤廃しただけでは地域の永続的發展は望まず、人を惹きつける施設を中核に持つて来る事と、規制緩和による企業誘致で雇用を発生さ



せ、人の集まる仕組みを作らなければ人口の増加は考えられないという答えで議会は閉会しました。会場最終審査では、賛成派が多かった中間審査とは異なり、賛成派反対派とも同数となったようです。

例会の最後に、「今回の仮想市議会の意見、感想を聞かせていただき今年度の後半の委員会に活かしていきたい。」という茅野委員長の総括で、2月例会は閉会しました。

私にとって、今回は米子市の将来あるべく姿を深く考えさせられる、印象的な例会でした。

(記事:門脇)



次年度会長決定！

鳥取県西部中小企業青年中央会 次年度(35期)会長

増井 幸一 会員 (平成10年5月入会)

略 歴	平成16年度	総務委員会	委員長
	平成18年度	わくわく発掘委員会	委員長
	平成19年度	副会長	
	平成20年度	県出向監事	



鳥取県中小企業青年中央会 次年度(平成21年度)会長候補者

山根 宏典 会員 (平成13年1月入会)

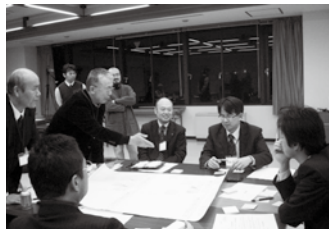
略 歴	平成14年度	きずな委員会	副委員長	平成15年度	政治行政委員会	委員長
	平成16年度	県出向理事		平成20年度	副会長	

米子市民基本自治条例検討委員会レポート

2月18日午後7時より、米子市自治基本条例検討委員会主催のワークショップが開催された。同検討委員は昨年(平成20年度)の4月よりこれまで合計15回にわたり自治基本条例について検討をかさねてきた。この度、委員以外の意見を広くつづつることを目的としてワークショップを開催したのだが、公募委員として我々が青年中央会の桶村副会長と後藤公平会員が参加している縁で、記念すべき第1回目として、青年中央会の有志15名が参加することとなった。ワークショップは3班に別れて行われ、班の構成はコーディネーターの市職員が一人、アドバイザーとして同委員が2名、そして中央会のメンバーが5人となった。先ず、制限時間の10分で、中央会のメンバーが検討課題である「米子のいいところ、悪いところ」を各5個、ポストイットに記入していった。記入



が終わるとあらかじめ用意されていた模造紙にポストイットを記入した内容と理由を発表しながら張り付けていった。模造紙は米子の「いいところ」「わるいところ」をそれぞれハード面とソフト面に分けて4分割してあり、ポストイットは記入内容に応じて貼るところが予め決められていた。一通りポストイットを所定の位置に貼り付け終わると、今度はポストイットの内容に応じてグルーピングしていく。例えば、「自然が多い。」「食べ物旨い。」であれば、「暮らしやすい」といったタイトルをつけてグルーピングしていくことになる。この作業によって米子の現状と課題を抽出し、今度はこれを勘案して、「どうすればよくなるのか?」というソリューションを同じ作業をすることで導き出しその内容を各班の代表が発表した。班の代表が前に出ると、会場のあちこちから「よっつ!」とかけ声があり、中央会の例会さながらの雰囲気の中、各班の大変個性的で的を得た発表に大いに盛り上がった。最後に、後藤公平会員の主催者を代表した挨拶があり、閉会となった。このような取組が今後各地で順次開催されて行くとのことであり、中央会を対象にした第二回も計画されているということだから、会員各位には是非参加をいただきたいと思った。



(記事:内田)

これが私の 変革

revolutionize

何といたっても私が最初に変わったのは設計事務所業界への転職です。

普通のサラリーマン家庭でぬくぬくと育ち、大学まで出させてもらい、Uターン就職で地元住宅メーカーに就職。「設計事務所なんて食べて

いけない」「建築はあくまで趣味」。しかし何年かすると、本当の設計がしたいと思うようになり、29歳で設計事務所業界に転職。一般の皆さんは住宅メーカーの設計も設計事務所の設計もそんなに変わらないんじゃないの、と思われる方も多いと思います。しかし、180度違いました。一番の違いは、決まったものは何もないという事。毎回ほとんどゼロから物を作り上げていきます。マニュアルなんてありません。仕様も違うし、単価も違うし、カタチも違う。そりゃそうですよ、建てる人が違うのですから。

で、次に大きく変わったのが35歳での「しらいし設計室」の開設です。

まさか自分が商売を始めるなんてこれっぽっちも昔は思っていませんでした。

これまたサラリーマン時代と大きく違うことに気がきます。それは、毎月頂ける給料という制度が基本的にない。毎月決まった時期に決まったお金が入ってくるのが、当たり前と思いついていた自分がどれだけ甘かったのか思い知らされました。

また昨年初体験の確定申告も、とても貴重な体験でした。自分がどれだけ稼ぎ、どれだけ納税しているのかを身をもって自分の事として体験する。正直サラリーマンもこれは自分でしたほうが良いと思えました。

そして「仕事は自分で作るもの」です。考えて、考えて実行、考えて、考えて実行の繰り返し。自分が何もしなければ、何も生まれません。

これからも「楽しいをカタチに」をコンセプトにたくさんの人々を明るく巻き込んで世のため家族のため自分のため楽しみまくって仕事して生きていきます!

(記事:白石)

『セミオープン委員会(ビジネス委員会)報告』

平成21年2月5日、当会ビジネス委員会のセミオープン委員会が開催された。

講師に、当会OBでもある「株式会社すし弁慶」代表取締役・渡部光典氏をお招きし、「県外資本の企業を迎え撃つ経営者の施策と意気込み」をテーマに同氏に講演していただいた。15人の現役会員と1名のOB会員の参加があった。



まず、米子市に国内回転寿司業界トップ3の県外企業が續々進出してきている中で、それを迎え撃つ地元資本の回転寿司店としてどのような対策をすべきかについてお話があった。

「105円均一に勝てるビジネスフォーム」をつくるという観点から、これまでの「安くてうまい」から「超やすくてうまい」へ、商品の値下げ、産直地魚の使用、ローカル色を出す、仕入れの見直し、従業員の育成などこれまで行われてきた対策とその効果などについて具体的にお話があった。

これまでは「安く仕入れている」という自信があったが、県外企業の参入を機に見直してみると、中トロ、マグロ、鮮魚などを従

前より遙かに安く仕入れることができる方法があったということに気が付いたという点が特に印象的で、「研究熱心さ」と「情報収集能力」の重要性を改めて認識した。

最後に「自己反省」についてお話があった。何か失敗したときやうまくいかないことがあったとき、原因を他に求めず、自分の姿が跳ね返ってきたと謙虚に受け止め、それを活かすことが大切であるとのことであった。

その後、質疑応答の時間があり、参加者から、回転寿司ユーザー、経営者それぞれの視点からの質問や意見があり、渡部氏も熱心に耳を傾けられ回答しておられた。



県外資本に立ち向かう地元資本の対策という興味深い内容から、経営者としての心構えまで非常に多くのことを学ぶことができ、大変有意義な講演だった。

(記事:野口)



O B 訪 問

中村昌哲OB

(14期ご卒業)

今回のOB訪問は、米子市議会議長の中村昌哲OBです。中村OB宜しくお願いします。

早速ですが、どのような経緯で中央会に入会されたのですか？

「採石業界だけでは、井の中の蛙になる。異業種が集まる中央会で学べ。」と採石業界の先輩に進められました。

中央会で特に印象に残っていることは何ですか？

中央会最後の年、宇佐美会長(現OB会長)のもと、副会長として境港地区の「トライアスロン」・「青経連」と「御制記念碑献納建立事業」です。トライアスロンは鳥取県西部のほぼ全域にまたがる大イベントであり、私が会長の時、トライアスロンに取り組むことを決めることが出来たことは大変、感慨深いものがあります。

トライアスロンは、今でも中央会が主体的に係わり運営されています。本当に全国に誇る事の出来る素晴らしいイベントです。それでは、「青経連」に関しての経緯をお聞かせください。

当時の米子商工会議所青年部会長 上田博久氏、米子青年会議所理事長 井上賢明氏と鳥取県西部青年中央会会長だった私とはじめてのものです。最初は、ソフトボールをしたのかな？

御制記念碑献納建立事業は、皆生にある昭和天皇の石碑のことでしょ？

昭和天皇の最後の記念碑となった事業で、実行委員長を務めさせていただきました。他に

中村OBにとって中央会はどんな会だとおもいますか。

自分を人間にしてもらった会。井の中の蛙が、世間を見させてもらった会で、掛け替えのない出会いや思い出をもらいました。

それでは最後に、現役会員に一言お願いします。

あんまりええ子になりすぎたら、いけん。若いときはコンパクトに、ならず、おもいきりしたらいい。時代もあるが、昔は豪傑がたくさんいたからね。中央会も35周年をまもなく迎えるが、会を盛り上げてくれる現役会員にはOBとして大変感謝している。中央会は西部地域全体の会、市中村合併を35年前から経済でやってきた。この素晴らしい中央会をいつまでも後世に残して欲しい。

経営研修会に出席して

平成21年2月6日に倉吉シティホテルにおいて、平成20年度経営研修会が開催されました。昨年6月に入会致しました私にとって、今回が初めての経営研修会でありました。研修会に参加するにあたって、今回講師をされた赤塚社長は、私と同年代と伺っておりまして、どのような考えや観点のもと、会社経営を進めておられるのか、また、どのような話を聞くことが出来るのか興味深く思いながら出席させていただきました。研修会での赤塚社長の講演は、講演開始から終了まで、飽きのこない充実した内容でありましたが、特に講演の中で述べられたリーダー論、人材育成論については、私自身関心があったものの、今まで比較的年配の方が述べられることを分かったようで分からないという感覚で漠然と聞いたり読んだりすることが多かったのですが、今回の研修会では、同年代の方が自身の経験に基づき語られるリーダー論、人材育成論であり、実際の経営現場において何をどのような観点から見て考えておられるのか、それを聞き自分自身の今の姿や考え方と重ねあわせることでこれまでの自分に不足していること、今まで自分が見落としていたことが多くあることに気付くことができました。また、自分自身も仕事の中で、日々感じていた疑問や不満を解決するためのどのような取り組み方があるのか、具体的な考え方をその結果を交え聞くことが出来るなど、私にとって大変参考になる内容でありました。また同時に日々の業務に追われ周囲の従業員に対する配慮が疎かになっていたこと、一方的な考えに立ち組織を見てきた自分自身のありかたなど、今までの自分自身の至らなさ、努力不足を改めて見つめ直すことのできた研修会でありました。また、県中央会の行事は、バスでの移動中や懇話会等も貴重な勉強の場であると先輩会員の方々より教わっておりまして、移動中のバスの中では、普段の中央会活動とはまた異なった雰囲気の中で先輩方の話を聞くことができ、懇話会、2次会においては、普段接することのできない東・中部の会員の方と話をする機会にも恵まれ、貴重な経験をすることができました。末筆ではございますが、開催にあたり御尽力された担当役員の方々に対し深く感謝申し上げます。

(記事:総務委員会 松本冬竹)

《強小元年》

鳥取県西部中小企業青年中央会の皆さまこんにちは。日頃はガイナレ鳥取へのご支援ご声援誠にありがとうございます。さて、Jリーグ昇格を掲げ、地域の「元気」と「感動」を目指して、今シーズンも持てる力を尽くしてチャレンジして参りたいと決意しております。

今期のキャッチフレーズは「強小元年」と致しました。強さの魅力と小ささの魅力、その融合がガイナレ鳥取の価値と考え、暗い話題の多い昨今、今こそスポーツの真価の発揮しどころと捉えて、エネルギー溢れる活動にして参りたいと思います。こんな時勢だからこそ私どもの暮らすこの地域が輝きを増し、量やサイズではなく、人間味あるつながりやお互い様と思える温かみが、大きな魅力として見直されるに違いないと確信しております。

その代表的な例としてガイナレ鳥取が成長し、質を伴ってJリーグ昇格を果たすことを強く念じております。

今シーズンもまた、皆さまと共に戦って参りたいと願っておりますので、変わらぬご支援ご声援心よりお願い申し上げます。

(株)SC鳥取 代表取締役 塚野真樹



2月度委員会報告

政治行政委員会

平成21年2月4日(水)於:レストランぶどうの木 出席者/10名
議題/・役員会報告の件
・2月担当例会の件

環境問題委員会

平成21年2月10日(火)於:レストランぶどうの木 出席者/12名
議題/・役員会報告の件
「森と水の学校」と「下敷き作成」について

Neo・ラヴィ委員会

平成21年2月4日(水)於:大連 出席者/9名
議題/・役員会報告の件
・1月担当例会反省の件

ビジネス委員会

平成21年2月6日(金)於:国際ファミリープラザ 出席者/7名
議題/・会員拡大の件

・セミオープンセミナー

講師:株すし弁慶 代表取締役 渡部光典氏
演題:「県外資本の企業を迎え撃つ経営者の施策と意気込み」

エリアデザイン委員会

平成21年2月9日(月)於:米子市観光センター 出席者/8名
議題/・担当例会について
・蕎麦打ち体験について報告

広報委員会

平成21年2月3日(火)於:米子食品会館 出席者/11名
議題/・役員会報告の件
・ハンサム編集の件

総務委員会

平成21年2月4日(水)於:大連 出席者/12名
議題/・役員会報告の件
・4月レクリエーション例会の件

《コピーをして名簿にお貼りください》
新入会員

	ひろ やま しょう けん 廣山 松 憲	A型
	(南)ウメハラ 酒類全般、総合食品卸業 〒683-0853 米子市両三柳2360-9 TEL 32-1929 FAX 33-1003 (KT) 090-4570-8965 (EM) taka@ume1929.co.jp	営業部長
H21.02 (H20年度)入会 (推薦者) 松田(幸) 土岐(哲)		S44.10.28生

(コメント) この度二月に入会させて頂きました南ウメハラの広山松憲です。積極的に中央会活動に参加させて頂き自己研鑽に努めてまいりたいと思います。諸先輩方の温かい御指導の程、宜しくお願い申し上げます。

	はま ざわ たく し 濱澤 卓 司	B型
	AGIエッジ/生命保険株式会社 エージェンシープレイングマネージャー 生命保険販売 〒683-0004 米子市上福原2丁目3-35 TEL 35-4235 (KT) 090-7373-6220 (EM) hamazo318@yahoo.co.jp	
H21.02 (H20年度)入会 (推薦者) 川村(健) 増井(幸)		S47.3.18生

(コメント) この度は入会のご承認を頂き、誠にありがとうございます。私は米子をもっと住み良く楽しい街にしたいと常に考えており、その為に中央会への入会を決意致しました。今後はこの会で、今よりも更に前向きな思考と広い知識を吸収させて頂き、「自分」という器に層を磨きをかけていきたいと考えおります。至らぬ点が多いと存じますが、その都度ご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

編集後記

年が明けて我が康德丸の航海も折り返し地点を過ぎ、いよいよ6月の寄港を目指して邁進しているところだ。会員諸氏の中央会活動の方は充実していますでしょうか?私と云えば入会して15年、とっくに折り返し地点を過ぎて卒業まであと5年となった。

そんな中で初めての広報。実はこれが初めての「編集後記」なのだ。いざ書こうと思うと、全然進まない。困った。季節の事・仕事の事・環境の事・20年ぶりのスキー...意外に難しい。10年ぐらい前からのハンサムを読みかえしてみた。編集後記は大切だ。会員がなにげなく眺めている記事には広報委員の様々な苦労や葛藤の上に成り立っている。その記事の扇の要となるのが「編集後記」だ。私の駄文で「画竜点睛を欠く」事態になったら大変だ。そう思ったら余計緊張してきた。ハンサムの重みにやっとな気がついた。

15年間目立たぬように過ごしてきた私に「後5年、いろんな会員と知り合って自分を振り返って何か一歩を踏み出してみよう」そんな思いをさせてくれるほど「編集後記」は重かった。

次回も担当になったら、今度は「書くぜ!!!」と意気込む私です。

(記事:竹中)

3月役員会報告

3月定例役員会が平成21年3月2日(月)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・2月例会反省の件
- ・3月例会開催の件
- ・次年度副会長及び専務理事候補指名推薦の件についての上程書の件
- ・その他

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

3月例会案内

と き:平成21年3月16日(月) 18:30~開会

*開会時間にご注意ください!

と ころ:米子市観光センター

内 容:蕎麦づくりをテーマとしたエコツアーリズムの体験

担 当:エリアデザイン委員会